

# 令和4年度 公益財団法人印旛沼環境基金事業報告

## 第1 公益財団法人印旛沼環境基金の概要

### 1 設立趣旨

この法人は、印旛沼の水質浄化を推進し、もって印旛沼流域の環境保全に資することを目的とする。

### 2 沿革

昭和59年11月20日、佐倉市宮小路町12番地に財団法人印旛沼環境基金として、旧民法第34条の規定に基づいて千葉県知事の設立許可を受けて発足。その後施行された「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律(平成18年法律第49号)」の規定により、公益財団法人への移行を申請、千葉県知事の認定を受け、平成26年4月1日に公益財団法人印旛沼環境基金に移行した。

## 第2 事業の実施状況

### 1 事業の概要

令和4年度の事業は、令和4年2月8日開催の第2回通常理事会で決定した事業計画に基づき実施した。

### 2 事業の内容

#### (1) 印旛沼及び流域における調査研究

##### ① 水質調査結果及び各種環境情報等の収集と取りまとめ

印旛沼及び流域の河川・排水路等で千葉県及び流域市町が実施した水質等に関する調査や印旛沼等の環境保全に関わる各種情報(流域市町が対処した環境に関する問題や苦情、助成した事業、環境関連行事、啓発活動など)について取りまとめた。

これらの結果については、令和3年度にとりまとめた令和2年度の結果とともに「令和3・4年版印旛沼白書」に掲載し、流域内外の関係者や流域住民に周知した。

##### ② 印旛沼の植生等に関する調査

繁茂面積の拡大が懸念される特定外来生物のナガエツルノゲイトウ及び在来のオニビシについて、効果的な除去対策の検討等に資するため、継続

的に監視が必要と思われる地点を中心に、ドローンを活用し年間を通した繁茂状況の監視・調査を行った。

## (2) 講習・学習会及び観察会

### ① 講習・学習会等への講師派遣

関係機関からの要請を受け、下表に示す学習会等に講師を派遣した。

開催日	場所	テーマ	主催(対象)
R 4. 7. 28(木)	佐倉草ぶえの丘学習室	印旛沼の概況及び水質簡易試験実習	成田市環境ネットワーク(成田市親子5組11名)
R 4. 8. 22(月)	佐倉ふるさと広場学習室	教員研修会(6)	印旛沼流域水循環健全化会議(印旛郡市管内教員)
R 4. 8. 25(木)	成田市生涯大 学校	私たちと印旛沼 (19)	成田市教育委員会(成田市生涯大学院受講者)
R 4. 8. 26(金)	成田市生涯大 学校	私たちと印旛沼 (21)	成田市教育委員会(成田市生涯大学院受講者)
R 4. 11. 2(水)	八千代台東小 学校	印旛沼って どんな沼	八千代台東小学校 (4年1～3組107名)

### ② 観光船による印旛沼観察会(共催: 印旛沼水質保全協議会)

印旛沼流域内の住民を対象に、印旛沼に関する理解や知識を深めるため、観光船による沼や周辺の観察と沼の概況や歴史等に関する学習会を行った。

令和4年7月21日(木)に開催、参加者は80名(うち12歳以下11名、関係者除く)

### ③ 親子で学ぼう印旛沼(共催: 各市)

令和4年5月28日(土)に佐倉市の親子を対象として、印旛沼や水に関する理解や関心を深めるため、観光船による沼や周辺の観察と簡易な水質検査の体験学習等を行った。参加者は11家族32名(うち子ども16名)

また、同内容の事業を関係市と共催で以下のとおり実施した。

8月6日(土)八千代市: 参加者7家族23名(うち子ども12名)

8月19日(金)四街道市: 参加者7家族20名(うち子ども11名)

### ④ 印旛沼環境基金公開講座(共催: 佐倉市)

流域住民がより一層印旛沼について理解や愛着を深められるよう、以下のとおり3回の講座を開催した。印旛沼の水利用を中心に直接事業に携わっている方々の話を聴き、現状や課題について学んだ。

- ・対象: 印旛沼流域の住民
- ・開催場所: ミレニアムセンター佐倉 ホール

開催日	テーマ	講師（所属・氏名）	聴講者数
R4. 11. 12(土)	印旛沼の水利用と水管理	独立行政法人水資源機構 小栗 幸樹	23名
R4. 11. 26(土)	工業用水の利用、印旛沼と製鉄所の関わり 上水道から見た印旛沼の水質と浄水処理	JFE スチール(株)東日本製鉄所 大谷 俊朗 千葉県企業局水道部 柏井浄水場 安田 英幸 水質センター 山田 恵子	27名
R4. 12. 10(土)	印旛沼と農業	鹿島川土地改良区 高橋 修	25名

### (3) 啓発・宣伝

#### ① ホームページの公開

一般市民や関係団体に対して、インターネットを利用し当環境基金の事業等の紹介や印旛沼及び流域の環境保全等に関する情報を広く伝えるため、ホームページの内容を随時更新し公開した。

#### ② 「水辺の風景画コンクール」(第25回)の開催

印旛沼流域内の小・中学校の児童及び生徒の水環境への関心を醸成するため、印旛沼及び流域の河川等や他地域で見たり触れたりした水辺を描いた「水辺の風景画」を募集した。過去最高数の応募があり、審査・選考した作品を公津の杜コミュニティセンター(愛称: もりんぴあこうづ)で展示した。さらに最優秀賞、優秀賞、流域市町長賞の計16点の入賞作品については表彰するとともに、流域市町を巡回・展示した。

なお、もりんぴあこうづにおける展示期間中(6日間)の来館者は、延べ963名であった。

- ・応募学校数: 135校(小学校: 108校、中学校: 29校)  
(注: 義務教育学校から小・中とも応募があり内訳と合計が一致しない)
- ・応募作品数: 2,786点(小学校: 2,417点、中学校: 369点)
- ・展示作品数: 248点(小学校: 212点、中学校: 36点)
- ・表彰: 最優秀賞1点: 岡田 葵結(白井市立桜台小学校6年)  
優秀賞2点: 行木 汐里(八街市立八街中央中学校3年)  
諏訪 美結(佐倉市立印南小学校1年)

市町長賞13点

- ・表彰式: 令和4年11月6日(日)もりんぴあこうづ・多目的ホール
- ・展示会場: もりんぴあこうづ・市民ギャラリー
- ・展示期間: 令和4年11月1日(火)～6日(日)
- ・巡回展示: 流域市町(展示期間: 各市町5日間程度)  
令和4年11月11日(金)～令和5年2月15日(水)

### ③ 刊行物等の編集・発行

発行日	刊行物名	形 式	部数	備 考
R 4 . 8 . 31	雑誌「印旛沼」(第 43 号)	A 4 判 8 頁	4,000	委託印刷
R 5 . 3 . 15	印旛沼白書 令和 3・4 年版	A 5 判 175 頁	250	委託印刷
R 5 . 3 . 15	印旛沼のはなし	A 5 判 94 頁	3,500	委託印刷

### ④ 刊行物等の展示・配布

印旛沼流域住民に印旛沼の現状と重要性の理解を深めてもらえるよう、講習会・学習会・助成事業成果報告会・水辺の風景画コンクール等において、当基金編集・発行の各種刊行物等を無料配布、または有償頒布した。

#### (4) 環境保全団体等への助成

印旛沼及び流域において自然環境や環境保全に関する調査・研究や啓発等の各種活動を行っている小学校、高等学校、大学及び NPO 法人等を含む市民団体を対象に、その活動を支援するため助成金を交付するとともに、その成果についての報告会を開催した。

##### ① 助成対象の団体

小学校・高等学校・大学各 1 校、NPO 法人・一般団体等 10 団体の計 13 団体

##### ② 助成事業成果報告会の開催

上記助成に基づき行った各学校及び団体の諸活動の成果を発表するとともに、各団体間の情報交換と相互の連携を図るため報告会を開催した。

###### ア) 開催

- ・ 日時：令和 5 年 1 月 24 日（火）10 時 00 分～15 時 30 分
- ・ 場所：千葉県印旛合同庁舎 2 階大会議室

###### イ) 講 師：

- 瀧 和雄（千葉工業大学名誉教授）
- 根本 達也（千葉県教育庁北総教育事務所指導室 主席指導主事）
- 古嶋 美文（印旛沼流域水循環健全化会議 委員）

但し、所属及び職名は令和 5 年 1 月 24 日現在

###### ウ) 参加者：53 名（講師を除く）

###### エ) 報告の課題名と団体

	題 名	団 体
1	印旛沼 新発見！	佐倉市立染井野小学校
2	印旛沼水系新川および桑納川周辺の水質汚濁調査	千葉英和高等学校 生物研究部
3	印旛沼のマイクロプラスチック調査	日本大学生産工学部 応用分子化学科

4	印旛沼流域の湧水調査と湧水マップ作製 その3	NPO 法人 水環境研究所
5	印旛沼流域鹿島川における環境調査を 通した社会人向け環境教育の推進(4)	NPO 法人 環境・地理探 訪クラブ
6	観光船を使った夏休み親子印旛沼環境教室	NPO 法人 環境パートナ ーシップちば
7	里山整備や自然観察会等を通じた里山 保全・保護活動	里山の会 ECOMO
8	竹林整備を中心とした保全活動	佐倉里山支援28
9	印旛沼流域に於ける里山・水環境の調査・ 保全と市民啓発活動	NPO 法人 四街道メダカ の会
10	印旛沼をより良くして次世代に残そう	佐倉印旛沼ネットワーカ ーの会
11	二重川散策マップ作製と鯉のぼり事業	二重川に親しむ会
12	おいしいお米と色んな生き物たちの関係	合同会社 ホタル荘ファ ーマートシエ
13	印旛沼/鹿島川の環境美化	佐倉市カヌー協会

#### (5) シンポジウムの開催

印旛沼に係る市民活動等の一層の活性化を促進するため、環境保全や地域の活性化等に取り組んでいる方々を講師に招き、活動の趣旨や取組内容・今後の展望などについて聴いたのち、参加者によるグループ討議を行い、印旛沼のこれからについて考え意見交換した。会場ロビーに活動団体のポスター展示を行い、参加者との交流を促した。

- ・テーマ 「印旛沼を楽しもう～印旛沼のこれから～」
- ・日時 令和4年10月9日(日) 13時～15時45分
- ・場所 ウィシュトンホテル・ユーカーリ 5階ロイヤルウィシュトン
- ・講師等
 

コーディネーター：(特非) 環境パートナーシップちば	桑波田和子
パネリスト：印旛沼探検隊	大場 博子
まるごといんばぬまプロジェクト	浜田 靖彦
手賀沼アグリビジネスパーク事業推進協議会	八山 美里
みずとみどり研究会	佐山 公一
- ・参加者 流域住民・環境活動団体等構成員・県市町職員等 62名